

J-クレジット制度管理者御中

## 実績確認概要書

平成 28 年 10 月 28 日

審査機関名 ビューローベリタスジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	病院施設における空調用冷却水ポンプへのインバーター制御設備（エコビジョン）導入による排出削減事業
プロジェクト番号	KC1549
排出削減事業者名	独立行政法人労働者健康安全機構 浜松労災病院
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	独立行政法人労働者健康安全機構 浜松労災病院 (住所：静岡県浜松市東区将監町 25)
事業の概要	病院施設において、空調用冷却水ポンプにインバーター制御設備を導入することにより、電力使用量およびCO <sub>2</sub> 排出量の大幅な削減を図る。
排出削減量の計画	<限界電源係数採用> 2012年度 14tCO <sub>2</sub> /年 2013年度 125tCO <sub>2</sub> /年 2014年度～2019年度 123tCO <sub>2</sub> /年 2020年度 111tCO <sub>2</sub> /年 (事業実施期間合計 988tCO <sub>2</sub> ) <全電源係数採用> 2012年度 11tCO <sub>2</sub> /年 2013年度 125tCO <sub>2</sub> /年 2014年度～2019年度 121tCO <sub>2</sub> /年 2020年度 109tCO <sub>2</sub> /年 (事業実施期間合計 971tCO <sub>2</sub> )
クレジット 認証期間	J-クレジット制度 事業開始日：2013年2月25日 終了予定日：2021年2月24日

排出削減方法論	方法論番号005 「間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御によるポンプ・ファン類可変能力制御機器の導入」
---------	--

## 2. 本実績確認の対象期間

2014年4月1日 ～ 2016年3月31日（第2回目実績報告）

## 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	346tCO <sub>2</sub> (2014年4月1日～2016年3月31日)
-------	---

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 2 回目のため該当なし。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認 インバーター制御による冷却水用ポンプの稼働時間や消費電力量が記載されている eco-vision 省エネ実績報告明細書の確認により、導入設備が稼働していることを確認した。 その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。</p>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <p>1) モニタリング方法の確認 インバーター制御によるポンプの稼働時間および消費電力量の実績確認により、承認排出削減事業計画通り、モニタリングが実施されていることを確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 空調用冷却水ポンプの稼働時間を実績報告から確認すること</p>

	<p>により、承認排出削減事業計画通り、エネルギー使用量等が報告期間中にわたり適切に把握され、正確に集計され、適切に保存されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 使用されている排出係数が、J クレジット制度モニタリング・算定規定（排出削減プロジェクト用）Ver.2.5 及び承認排出削減計画に従っていることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量は、方法論及び承認排出削減事業計画に従って適切に計算され、算定結果は正確であることを確認した。また、リーケージ排出量はないことを確認した。</p>
算定期間が移行期間内であること	本実績確認の対象期間は、2014年4月1日から2016年3月31日までであり、排出削減量を算定した期間がクレジット認証期間の終了日である2021年2月24日を超えないことを確認した。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）  
該当なし

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネルギー量について、原油換算 159.2KL であることを確認した。

以上